

「生活道路対策エリア」の取組事例（白山市松任地区の事例）

グリーンベルト・外側線・
ドットライン・路面表示

- 対策区間は通学路であり、速度超過する車両が多いため、歩行者安全性向上対策（グリーンベルト、外側線、路面表示）を実施。
- 見通しの悪いクランク部で急減速が発生しているため、走行安定性向上対策（ドットライン）を実施。
- 時間指定の一方通行規制の区間で、逆走車の存在が確認されたため、進入抑制対策（路面表示：時間指定進入禁止）を実施。
- 対策エリア内で急減速発生回数は約4割減少（42回→24回）、30km/h超過割合は6ポイント減少し、各対策による効果が発現。

取組概要

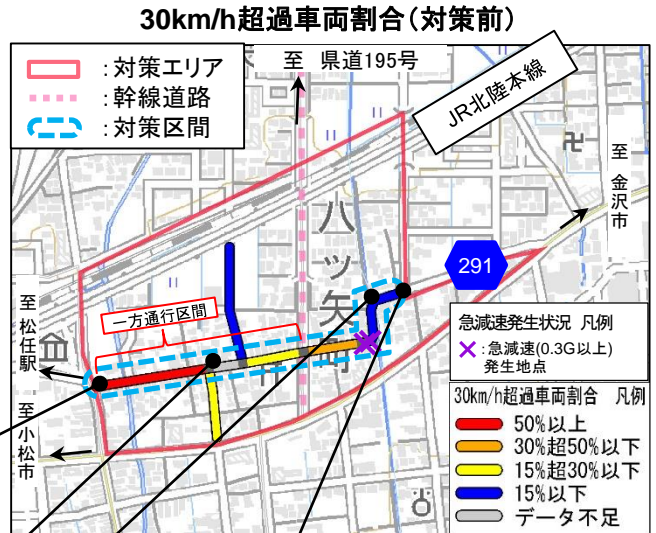


- 協議会等の開催
住民、警察及び関係機関の協働で協議会・現地点検を開催し対策を検討
- H29. 3：協議会開催
現地点検実施・計画決定
- H29. 4：対策実施
- H30. 3：効果検証

整備状況



ビッグデータ分析結果



整備効果

	30km/h超過割合		平均速度		急減速発生状況		時間指定の一方通行区間の逆走回数(回)
	エリア全体(%)	対策実施区間(%)	エリア全体(%)	対策実施区間(%)	回数(回)	発生履歴割合(%)	
対策前	63.0	16.8	35.5	23.9	41	1.2	10
対策後	55.2	11.1	32.9	19.5	24	0.7	2
	▲7.8	▲5.7	▲2.6	▲4.4	▲17	▲0.5	▲8

【出典】1. 履歴点データ：ETC2.0プローブデータ (30km/h超過割合・平均速度) 【対策前】H27.4～H28.3、【対策後】H29.5～H30.4 (急減速) 【対策前】H27.4～H28.3、【対策後】H29.9.1～11.5 (一方通行区間の逆走) 【対策前】H27.4～H28.3、【対策後】H29.5～H29.8

2. 背景地図：国土地理院